

武蔵野大学建築研究所紀要第2号： 目次,投稿・執筆要項,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1418

武蔵野大学建築研究所紀要

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY Institute of Architecture

第 2 号

No.2

目 次

CONTENTS

国際アート展における街とつながる実践
トロールの森 2020 を事例として

Practice to Connect with the City in International Art Exhibition
: A Case of "Trolls in the Park 2020" 水谷俊博 1
MIZUTANI Toshihiro

風化泥岩の斜面における安全性評価に関する研究
横須賀市秋谷地区を対象として

Study on Safety Evaluation on Weathered Mudstone Slopes
For the Akiya district of Yokosuka city 田中正史 5
TANAKA Masafumi

あしべ屋妹背別荘の台風 21 号災害復旧報告 その 2

Preliminary Report on the Restoration Works of Ashibe-ya Imose
Annex Damaged by the 21st Typhoon in Japan, 2018 : Part2 西本直子・西本真一 9
NISHIMOTO Naoko・NISHIMOTO Shinichi

岡田久楠 「紀伊和歌浦明細新地図」

OKADA Kyunan: *Kii Wakaura Meisai Shin Chizu* 西本真一・西本直子 15
NISHIMOTO Shinichi・NISHIMOTO Naoko

武蔵野大学建築研究所

Institute of Architecture, MUSASHINO UNIVERSITY

2021

武蔵野大学建築研究所紀要投稿・執筆要項

1. 目的

武蔵野大学建築研究所紀要(以下「紀要」という)は、武蔵野大学(研究所・大学院を含め以下「本学」という)の教員および大学院学生等の研究成果(以下「論文」という)を年1回公表することを目的とする。

2. 投稿資格

- (1) 紀要に投稿できる者は、①嘱託・客員・非常勤を含む本学教員・研究員ならびに大学院学生・研究生、②本学関係者で紀要編集委員会(以下「委員会」という)が認めた者、③委員会が投稿を依頼した者、とする。なお以上の原則に該当しない場合は、委員会が判断する。
- (2) 前項②の「関係者」とは、大学院を修了・退学した者で本学に提出した修士論文・博士論文に関わる成果を発表しようとする者、および本学の研究活動と密接に関わる成果を発表しようとする者(共同研究の相手方など)、とする。なお、修士論文関連の投稿は論文提出後1年以内、博士論文関連の投稿は論文提出後2年以内に限る。
- (3) 大学院学生・研究生および(1)項②の「関係者」は、事前に指導教員または担当教員の承認を得たうえで、当該教員を通して投稿申し込み、原稿提出、校正刷りの受け渡し等を行う。
- (4) 論文は未公刊で和文または英文によるものに限る。なお投稿は1名につき1編とするが、筆頭でない共同執筆者となる場合は複数の投稿を認める場合がある。また筆頭でない共同執筆者の範囲は、論文への相応の貢献が認められる限り、特に制限しない。
- (5) 投稿者は、共著者も含め、投稿論文が電子化され、広く一般に公開されることを前提に、著作権・肖像権等が処理済みであること。

3. 年間スケジュール

- (1) 論文の投稿申し込み期限は2020年10月31日、原稿の提出期限は2021年1月12日とする。
- (2) 紀要の発行は翌年3月とする。

4. 投稿要領

- (1) PDFによる電子原稿(レイアウト済み完成原稿)と、その出力印刷2部を提出する。PDF電子原稿は電子記録媒体で提出する。提出原稿が、執筆要項から大きく逸脱している場合、掲載を拒否できる。
- (2) 提出の電子原稿がそのまま版下原稿になる(校正はありません)。委員会が必要と判断した場合は校正を実施する場合がある。
- (3) 完成した電子版紀要をUSBメモリー(の予定)で配布する(抜刷はありません)。
- (4) 原稿(和文)は仕上がりA4判用紙(縦置き)で10頁以内とする。これには、表題から文献リストまで、キーワード、本文、図、表、写真、抄録等の一切を含む。英文の場合もこれに準じる。PDFの電子原稿の作成は別紙「原稿執筆要領」をあわせて参照すること。
- (5) 和文原稿の表記には、特別な理由がない限り、常用漢字、現代かなづかい、算用数字を用いる。
- (6) 原稿冒頭に約12行分を確保し、①和文表題、②英文表題、③執筆者氏名(和文表記)、④執筆者氏名(ローマ字 or 英文表記)を記載する。なお、冒頭頁の脚注となる執筆者情報は建築研究所における職位を記入下さい。不明な場合は委員会までお問い合わせ下さい。委員会により編集する場合があります。

5. その他

- (1) 論文は無審査を原則とするが、掲載の適切性に疑義がある場合は、委員会の指示にしたがうこと。
- (2) 論文の著作権は執筆者に帰属する。ただし、紀要の刊行により公表された論文について、本研究所は成果公表目的の範囲内で複製、翻案、公衆送信、リポジトリ(電子アーカイブシステム)等の権利を保有する。

武蔵野大学建築研究所紀要編集委員会

委員長 風袋 宏幸

委員 伊村 則子

武蔵野大学建築研究所紀要 第2号

2021年3月1日発行

編集 武蔵野大学建築研究所紀要編集委員会

発行 武蔵野大学建築研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20

電話 042-468-3350 (大学事務部 武蔵野学部事務室)

印刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 13-1

電話 03-5643-3321
